

平成15年10月29日

各位

会社名 F D K株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 惟司
(コード番号 6955 東証第一部)
問合せ先 財務経理部長 川崎 健司
TEL (03)3434-1271

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒川 博昭
(コード番号 6702 東証、大証、名証各市場第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年4月25日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正

16年3月期中間期(平成15年4月1日~平成15年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	44,000	2,050	300	200
今回予想(B)	45,729	627	1,639	1,492
増減額(B-A)	1,729	1,423	1,939	1,692
増減率	3.9%	69.4%		
(ご参考)前年同期実績	43,164	532	3,062	3,192

16年3月期通期(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	92,000	4,700	1,000	700
今回予想(B)	96,000	2,800	1,380	1,400
増減額(B-A)	4,000	1,900	2,380	2,100
増減率	4.3%	40.4%		
(ご参考)前年同期実績	86,258	459	4,949	6,266

2. 単独業績予想の修正

16年3月期中間期（平成15年4月1日～平成15年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	30,000	1,350	120	100
今回予想（B）	30,219	893	1,102	906
増減額（B - A）	219	457	1,222	1,006
増減率	0.7%	33.9%		
（ご参考）前年同期実績	32,858	401	2,361	2,381

16年3月期通期（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	63,000	3,200	540	500
今回予想（B）	64,500	2,400	980	800
増減額（B - A）	1,500	800	1,520	1,300
増減率	2.4%	25.0%		
（ご参考）前年同期実績	62,978	157	4,137	5,443

3. 修正の理由

電子部品市場の需要が回復するなか、液晶ディスプレイ用およびプラズマディスプレイ用ハイブリッドモジュール等を中心に売上が伸長し、全体として業績は回復傾向にあります。しかし、円高が急激に進行するとともに、フェライト製品の価格下落に歯止めがかからず、さらに一部電子製品の伸び悩みも加わり採算が悪化し、当初の予想を上記のとおり修正いたします。

4. 今後の施策について

当社グループは、昨年9月に開示した事業構造改革「FDKグループの変革の方向付けと事業構造改革のための施策」に基づき、それらの施策を実行し、業績向上に努めてまいりました。その効果は着実に成果として業績に反映されておりますが、その後の事業環境の大きな変化に対応するためには、さらに踏み込んだ改革が必要と考えております。特に伸長著しいデジタル家電・カーエレクトロニクス分野などへの選択と集中、中国ビジネスの再編成などを強力に推し進め、事業基盤の強化と財務構造の改善を図ってまいります。その具体的なプランにつきましては、早急にまとめ、お知らせする予定です。

以上

（注意事項）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、業況の変化等により、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

本リリースは、証券取引法166条に定められた「重要事実」に該当する情報を含んでおります。本リリースをご覧になられた場合は、インサイダー取引規制に関する「第一次情報受領者となり、公開後12時間以内（日本時間2003年10月30日、午前3時頃まで）に当社株式の売買等を行うことは禁止されますのでご注意ください。